


大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	中国人留学生による母文化発信がもたらす多文化共生の推進に関する調査研究		
分野	留学生教育		
キーワード	留学生 多文化共生 母文化 外国人児童生徒		
研究者名・職位	春口 淳一・准教授		
所属	国際学部 国際学科		
研究シーズ概要	<p>プロジェクト共育として、本学では中国の伝統舞踊である「舞龍（ウーロン）」を発信する取り組みがあります。中国人留学生を中心とするこの取り組みは、大東市を中心に広く大阪府内外での演舞披露の機会を得て、10年近くの活動実績を誇ります。大阪では外国にルーツを持つ児童・生徒の受け入れが年々拡大していますが、特に中国にルーツを持つ子供たちに対して、中国の伝統文化に触れる機会を創出することは、アイデンティティの確立、自尊感情の惹起に一役買うものと考えます。またこうした子どもたちとの触れ合いは、中国人留学生にとっても日本社会の理解と共に、社会貢献への実績として自らのコミュニティでの位置づけを確かなものとする効果が期待できます。その実績と効果を研究調査を通して確かめることで、留学生、外国ルーツの子供たち双方の地域での居場所づくり、ひいては帰属意識を高めることで、多文化共生社会の創出一役買うことを目指します。</p>		
進捗状況	着想・構想段階	基礎研究段階	実証段階
連携研究の 範囲・方法	<p>これまでは特定の学校から要請を受けていましたが、平日に実施することが求められるため、留学生の参加も大学の授業との兼ね合いから限定的となりました。そこで「舞龍」体験を主軸とした交流イベントを小中学校の授業と切り離し、休日イベントとして開催を企画します。定期的に「舞龍」体験を開催することで、留学生、児童生徒の声を縦断的に集め、その効果を検証します。複数の小中学校にまたがった参加を呼びかけるには、イベントの企画・広報において、留学生と「産」「官」との連携が欠かせません。企画の事前・事後も含めて、留学生との協力体制を敷くことが理想となります。</p>		
用途・効果 ・市場	<p>地域における留学生の母文化発信が、誰の目にも留まる象徴的な目印としての文化的なアイコン発信に留まらず、多文化共生のためにより重要な役割を果たし得ることを検証します。それにより留学生、児童生徒への教育的効果をアピールすることで、「産官学」が連携した新しい共生モデルを提示します。このことは、地域の新しい魅力を喧伝するとともに、「産官学」それぞれのグローバル化推進にも寄与することでしょう。</p>		
研究者の 業績等	<p>https://researchmap.jp/7000023048</p> <p>本研究テーマについては、特に時事通信社『内外教育』（7085号）に掲載した「大学のグローバル化と留学生教育」で触れています。</p>		

連絡先	<p>大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室</p> <p>TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2819)</p> <p>FAX : 072-875-6551</p> <p>E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp</p>
------------	--